

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県岩槻市約上新田271
TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109
(西日本担当)

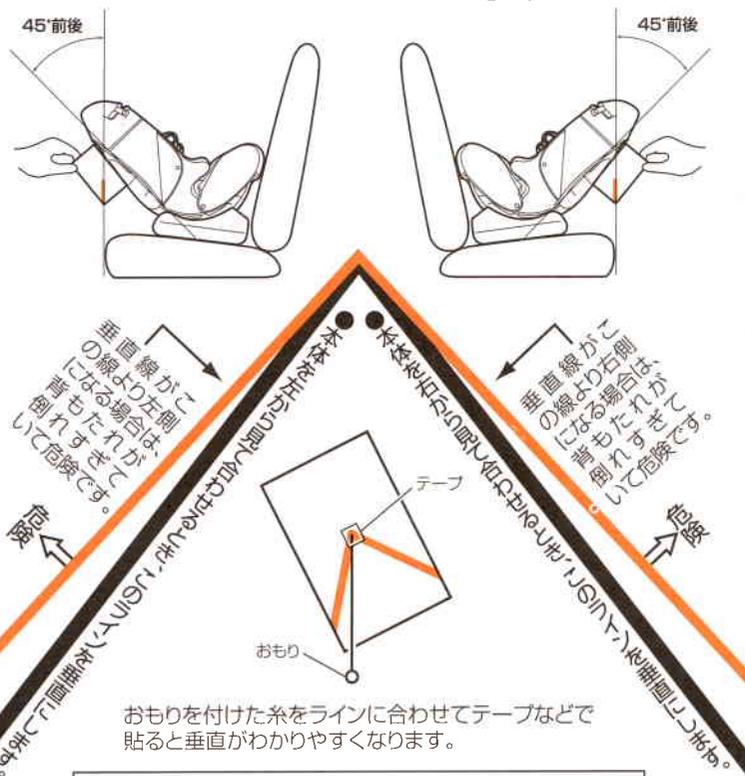
〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL. (06) 6536-0456 FAX. (06) 6536-4468

発売元 **株式会社 東海理化**

〒480-0195
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地

角度チェッカー

チャイルドシートを車に取り付けたときの、目安としてお使いください。



車両進行方向に対して後向きでご使用の場合、上の図のように本書を本体の背もたれに合わせます。黒いラインが垂直になったら約45°の角度です。

コンビ チャイルドシート プリムロングシリーズ 取扱説明書

本書は側面ポケットに保管してください。



品質保証書付

警告 体重9kg未満は必ず後向きでご使用ください。前向きでのご使用は非常に危険です。

本品は、自動車事故の場合などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられたチャイルドシートです。

お子さまの安全のためにご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。本書は紛失しないよう側面のポケットに保管してください。(「3.車へ取り付ける前に」P8を参照)

本品を他のお客さまにお譲りになるときは必ず本書もあわせてお渡してください。

目次

1 ご使用にあたって - 2

2 ご使用上の注意 - 4

3 車へ取り付ける前に - 8

4 ベビーモード・チャイルドモードの準備 - 12

1. インナークッションの使いかた - 12

2. お子さまの座らせかた - 14

5 ベビーモードの取り付けかた - 16

6 チャイルドモードの取り付けかた - 22

ジュニアモードの準備 - 26

7 1. 部品のはずしかた - 26

2. 部品の取り付けかた - 28

8 ジュニアモードの使いかた - 30

9 お手入れのしかた - 32

1 ご使用にあたって

警告表示について

この取扱説明書では安全にご使用いただくため、特に守っていただきたいことなどを次のマークで表示しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

- 警告** 記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあるもの。
- 注意** 記載事項を守らないと、傷害、事故またはチャイルドシートの破損につながるおそれがあるもの。

その他の表示について

《完了チェック》 安全のため、最後に必ず確認していただきたいことを記載しております。

アドバイス この製品のために守っていただきたいこと、およびより安全、快適にご使用いただくうえで知っておくと便利なことを記載しております。

- イラストの中で使用されている×の記号は、図示されている行為の禁止を示しています。安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

ご使用いただけるお子様

○体重：25kg以下のお子さま（参考年齢：新生児*～7歳ころ）

お子さまの適用条件		
後向き	前向き	
ベビーモード	チャイルドモード	ジュニアモード
<ul style="list-style-type: none"> 体重：10kg未満 身長：後頭部が背もたれより上にでないお子さま 参考年齢：新生児*～12ヶ月ころ （体重6kg未満の場合は、必ずインナークッションをご使用ください。） 	<ul style="list-style-type: none"> 体重：9kg以上18kg以下 身長：後頭部が背もたれより上にでないお子さま 参考年齢：12ヶ月ころ～4才ころ 車のシートベルトでチャイルドシートを固定し、チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。 	<ul style="list-style-type: none"> 体重：15kg以上25kg以下 身長：後頭部が背もたれより上にでないお子さま（115cm程度まで） 参考年齢：4才ころ～7才ころ （チャイルドシートの幼児ベルトを取りはずし、お子さまを車のシートベルトでしかに拘束します。）

*新生児とは、体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上

警告

- 上記の条件を満たさないお子さまにはチャイルドシートを使用しないでください。

この様な車両シートベルトの種類、座席には使用しないでください。

警告

●本品は汎用型チャイルドシートであり、チャイルドシートの型式指定基準に適合してはおりますが、車両シートベルトの種類やシートの形状などにより、確実にチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。確実に固定できないと、衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動するなどして十分な効果を発揮せず命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。なお、不明な点は巻末の発売元コンシューマープラザに、お問い合わせください。

●車両シートベルトの種類

※車両シートベルトの種類の詳細は「車両シートベルトの種類(P7)」を参照してください。

○：取付できる ×：取付できない（下図参照）

	巻取装置付					巻取装置なし
	巻取式付 ELR(巻取) ロック付	巻取式付 ELR(巻取) 相付	巻取式付 ALR(自動) ロック付	巻取式付 ALR(自動) 相付	オート マチック	
2点式	○	×	○	×	×	×
3点式	○	×	○	×	×	○

●オートマチックシートベルトの座席

座席に座ってドアを閉じると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にはずれるシートベルト。



●緊急ロック式巻取り装置付2点式シートベルトの座席

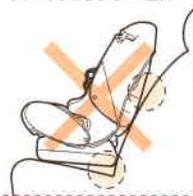
●3点式シートベルトの腰部・取付け部が巻取り装置付の座席



腰部の取付け部が巻取り式になっているもの

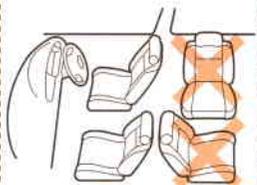
（参考）一般的な3点式シートベルトでは腰部の取付けは固定されています。

●チャイルドシートの底面の前後端が車両シート座面に接しない場合または安定しない座席



●シートベルトの無い座席
●チャイルドシートが固定できない座席
●車両シートベルトのバックルを三回転させてもバックルの位置が高い座席

●進行方向に対し横向き、後ろ向きの座席



●SRSエアバッグが装備された座席（SRSサイドエアバッグは除く）

エアバッグが装着された座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け危険です。

2 ご使用上の注意

警告

● お子さまが車内にいるときは、必ず保護者の方が付き添ってください。決してお子さまをチャイルドシートに座らせてまま自動車から離れないでください。炎天下などで車内が高温になり、死亡につながるおそれがあります。



● 事故などにより衝撃を受けたチャイルドシートは使用しないでください。万一のとき、十分な効果を発揮しないおそれがありますので必ず新しいチャイルドシートに取り替えてください。



● チャイルドシートはお子さまを乗せないときでも、安全のために車両シートベルトで固定してください。固定しないと衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、荷物をチャイルドシートの上に乗せないでください。



● 後席に乗員を乗せる場合は、2ドアや3ドア車両などの後席にドアが無い車の前席、1ボックスなどの後席乗員の乗降に支障となる座席にはチャイルドシートを取り付けしないでください。後席の乗員が緊急脱出する際に支障となる場合があります。



● 車両シートベルトおよびチャイルドシートのベルトを傷付けないようにご注意ください。万一のとき、ベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。少しでも傷ついた場合は使用しないで新しいベルトに取り替えてください。



● チャイルドシートにお子さまを乗せてご使用になるときは、バックルははずさないでください。はずすと万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



警告

● 走行中およびご使用中はお子さまが誤って車両シートベルトやチャイルドシートのバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出すことのないよう、細心の注意をはらってください。万一のとき、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



● チャイルドシートに日光が当たると金属部や樹脂などが熱くなり、部品に触れるとやけどをするおそれがあります。熱くないことを確認のうえ、ご使用ください。



● 走行中はチャイルドシートの調節や操作をしないでください。走行中に行うと運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



● チャイルドシートを助手席に取付けた場合チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキが干渉する場合があります。もし、干渉する場合は、助手席での使用をやめ後席で使用してください。



● 走行中、停車中ともお子さまをチャイルドシートの上に立たせたり、中腰、正座の状態で使用しないでください。お子さまがチャイルドシートより落ちてケガなどをするおそれがあります。



● 車両シートベルトで固定する場合、ご使用中車両シートベルトがゆるむなどしてチャイルドシートの固定があまくなる事があります。時々点検し、ゆるくなった場合は再度取り付け直してください。そのままご使用になると万一のとき、チャイルドシートの効果を発揮しないおそれがあります。(確認、取り付けは停車し、安全な状態で行ってください。)



警告

- 安全のため、走行中はお子さまをチャイルドシートから、降ろさないでください。走行中に行くと万一時、生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



- SRSサイドエアバッグが装備された車両では前席に取付けられた場合お子さまがフロントドアにもたれかからないようにしてください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときの衝撃で生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。



- チャイルドシートを取付けるときはベース周辺に異物が無いことを確認して使用してください。また、シートベルト等かみ込まないよう使用してください。異物やシートベルト等をかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突したときに重大な傷害を受けることがあります。

- お子さまが、チャイルドシートをご使用中は、お子さまに固いもの、鋭利なもの等危険なものを絶対に持たせないでください。わずかな衝撃でも生命にかかわるような重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままチャイルドシートを使用しないでください。また、クッション材をチャイルドシートの調整用として使用しないでください。



- バックルにゴミなどが詰まって確実に差し込めない場合は修理の必要がありますので、巻末の発売元コンシューマーブラザにお問い合わせください。
- 本書に記載された以外の方法で絶対に取り付けしないでください。正しく取り付けないと衝突したときなどにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートの表皮、カバー類は取りはずして使用しないでください。
- 本チャイルドシートの表皮、カバー類は指定以外のものと取り替えて使用しないでください。
- 事故などにより、傷害を与えるような物を固定しない状態でお車の中に放置しないでください。万一時、お子さまにあり、ケガなどをするおそれがあります。
- 本書に記載された以外の分解、構成部品を取りはずした状態での使用、本品指定以外のものとの交換等の改造は絶対に行わないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

- このチャイルドシートは自動車専用ですのでお部屋などでは使用しないでください。
- 長時間屋外にチャイルドシートを放置しないでください。チャイルドシートの機能を損ねる原因となります。
- 食べ物、飲物をチャイルドシートにごぼさないように注意してください。故障の原因となります。
- 後席にチャイルドシートを取り付け、お子さまを座らせた場合は、その前席に座る方は、シートスライド、リクライニングをお控ください。万が一シートスライド、リクライニングをする際は、お子さまの足にぶつかることのないよう十分ご注意ください。
- チャイルドシートを車両の可動部分（シートやドア）で挟んだりしないよう十分ご注意ください。チャイルドシートが損傷するおそれがあります。

車両シートベルトの種類

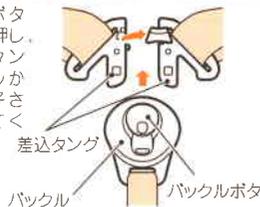
- シートベルトの種類により取り付け方法が異なります。チャイルドシートを正しく安全に使用されるためにお客様の車両のシートベルト種類を確認して頂き、それぞれの種類に合った取り付け方法で装着してください。不明の場合は巻末の発売元コンシューマーブラザにお問い合わせください。

シートベルトの種類	特徴	取付け
ELR(緊急ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	通常時には、ベルトが自由に引き出し巻取りでき、急ブレーキ等の衝撃を感じたときにベルトがその時点でロックされます。	肩ベルトを製品の固定部分でしっかりと固定してください。
ALR(自動ロック式ベルト巻取り装置)付2点式シートベルト	ベルトを引き出す途中(任意の位置)で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	チャイルドシートを固定することができません。
ALR/ELR(チャイルドシート固定機構)付3点式シートベルト	ELR付3点式シートベルトにチャイルドシート固定用にALR機構を備えたものです。	チャイルドシートを製品の固定部分でしっかりと固定してから、シートベルトを全部引きだしてALR機能に切り替えてください。ジュニアモードではALR機能は使用禁止。
ALR(自動ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	ベルトを引き出す途中(任意の位置)で止めると自動的にロックされ、それ以上引き出せなくなります。	チャイルドシートを固定するのに必要なだけの長さを一気に引きだしてから、チャイルドシートを製品の固定部分でしっかりと固定してください。
NLR(非ロック式ベルト巻取り装置)付3点式シートベルト	ロック機構が無く、ベルトを全部引き出した状態で体格に合わせてベルトの長さを調整します。	巻取り装置からシートベルトを全部引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調整し固定してください。
マニュアル式3点式シートベルト	巻取り装置が無く、体格に合わせてベルトの長さを調整するシートベルトです。	チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調整し固定してください。

緊急の場合には

緊急時にはあわてず下記方法ですみやかにお子さまを救出してください。

- バックルのボタンを指で強く押し、左右の差込タンクをバックルから離し、お子さまを降ろしてください。



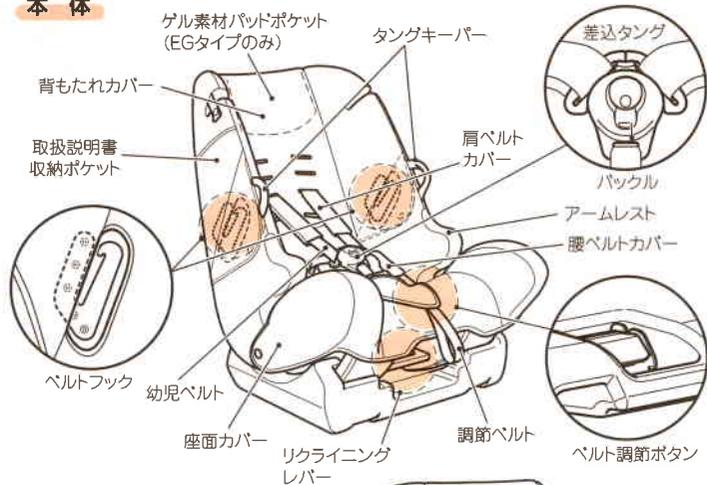
- バックルから左右の差込タンクが抜けるときには、チャイルドシートの肩部ベルトを刃物等で切り、お子さまを降ろしてください。



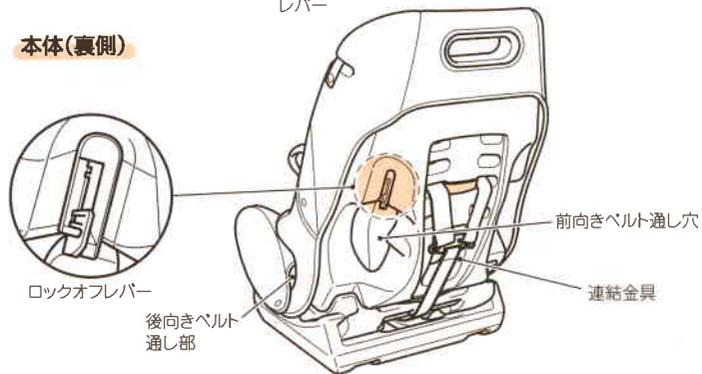
3 車へ取り付ける前に

1. 各部のなまえ

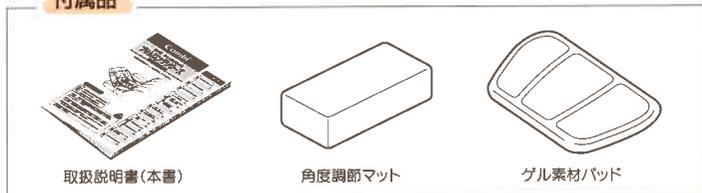
本体



本体(裏側)

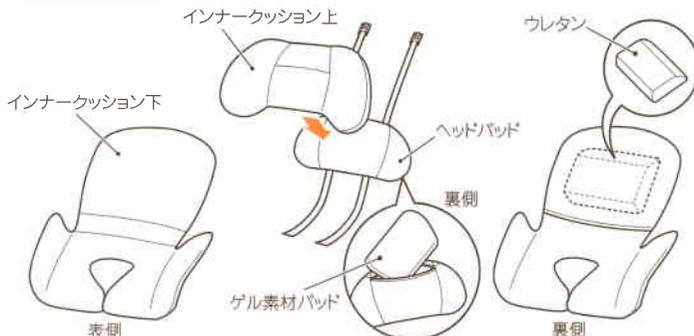


付属品



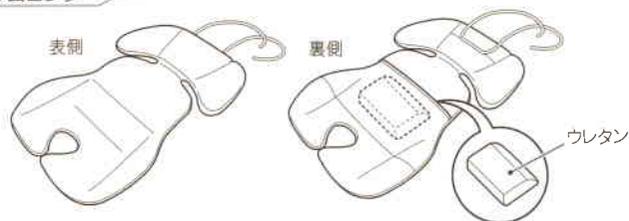
インナークッション

プリムロングEG



●インナークッション上はヘッドパッドにかぶせた状態で使用します。

プリムロング



警告

●本体の部品交換はしないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

バックルの解除・ロックのしかた

解除

- ① バックルボタンを押し、差込タンクをはずします。
- ② 2枚に合わされた差込タンクを上下に分けはずします。



ロック

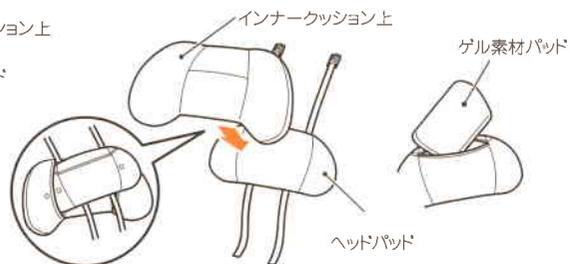
- ① 左右の差込タンクを上下に合わせます。
- ② 2枚に合わせた差込タンクをバックル穴に「カチッ」と音がするまで差し込みます。



2. ゲル素材パッドの使いかた (プリムロングEGのみ)

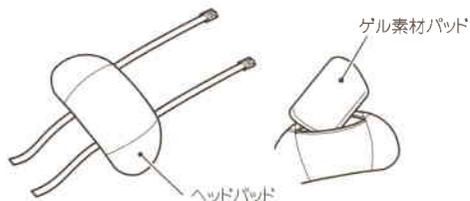
ベビーモードの場合

- インナークッション上
- ヘッドパッド
- ゲル素材パッド



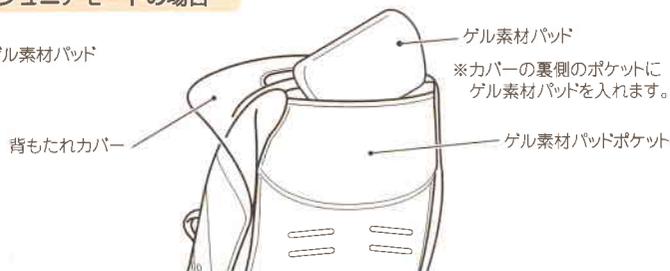
チャイルドモードの場合

- ヘッドパッド
- ゲル素材パッド



ジュニアモードの場合

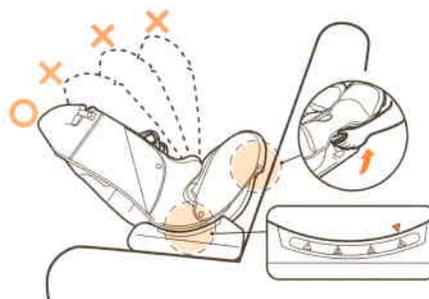
- ゲル素材パッド



3. リクライニングの使いかた

ベビーモード

対象 体重：10kg未満



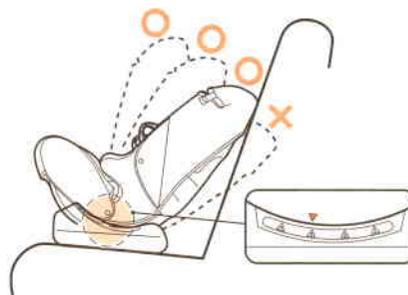
- リクライニングレバーを上げながらリクライニングを4段目(後向き専用位置)にします。

警告

- 1～3段目は使用禁止。

チャイルドモード

対象 体重：9kg以上18kg以下



- リクライニングレバーを上げながら、リクライニングを1～3段目にします。

警告

- 4段目は使用禁止。

ジュニアモード

対象 体重：15kg以上25kg以下



- リクライニングレバーを上げながら、リクライニングを1段目にします。

警告

- 2～4段目は使用禁止。

4 ベビーモード・チャイルドモードの準備

1. インナークッションの使いかた (ベビーモードのみ)

警告

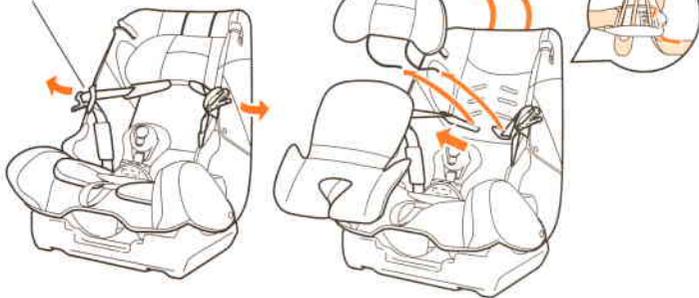
●インナークッションは、体重6kg未満のお子さまの頭部をサポートするためのものです。ご使用の際は、下記取り付け方法に従って正しくお使いください。また、上記目的以外では絶対に使用しないでください。万一のとき、思わぬ事故につながるおそれがあります。

インナークッションの取りはずしかた

プリムロングEG

- ① 本体バックルを解除し、幼児ベルトをひらきます。
- ② インナークッションのひもをほどきはずします。

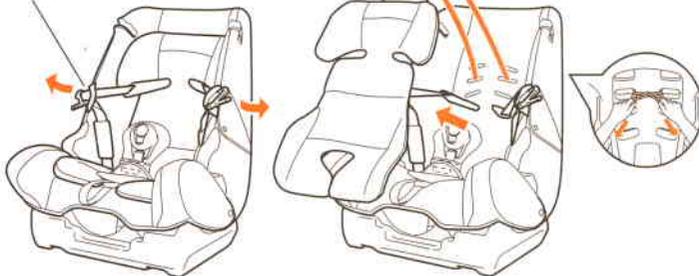
タンクキーパーにかける



プリムロング

- ① 本体バックルを解除し、幼児ベルトをひらきます。
- ② インナークッションのひもをほどきはずします。

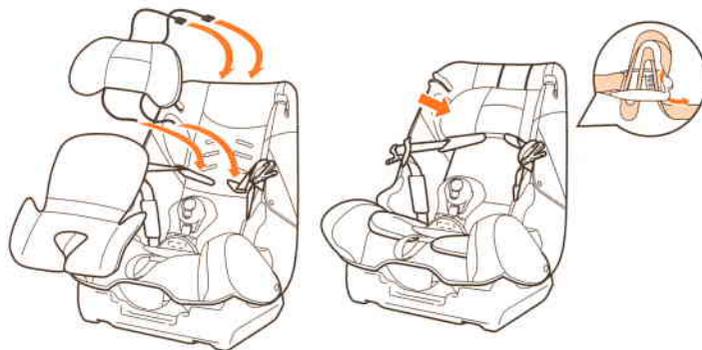
タンクキーパーにかける



インナークッションの取り付けかた

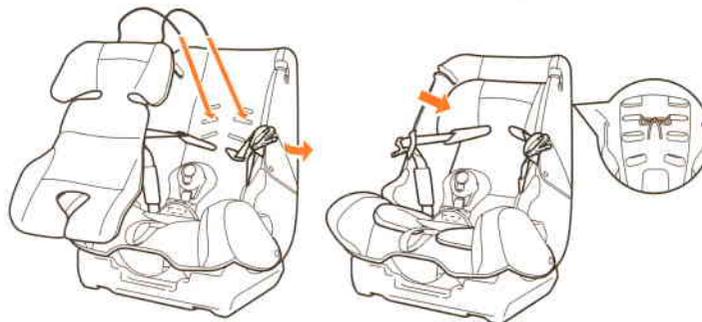
プリムロングEG

- ① 幼児ベルトが通っている穴に、インナークッションのひもを通します。
- ② 背もたれ裏側のフックにひもをむすび、幼児ベルトと本体バックルをインナークッションの手前に出します。



プリムロング

- ① 幼児ベルトが通っている穴の2つ上に、インナークッションのひもを通します。
- ② 背もたれ裏側でひもをむすび、幼児ベルトと本体バックルをインナークッションの手前に出します。



2. お子さまの座らせかた

▲ 警告

- チャイルドシートのバックルをはずしたままのご使用は絶対におやめください。

▲ 警告

- おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。

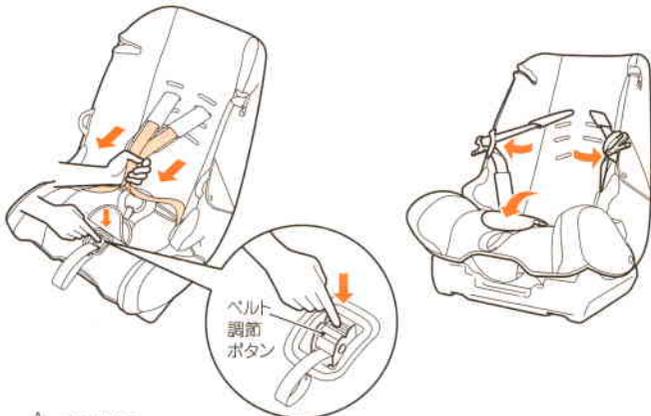


- お子さまをタオルなどでくるんだまま、乗せない。
- かさばったベビーウェアや、ジャンパーなど厚着をさせたまま、乗せない。
- お子さまを乗せるときには、下図のような乗せかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- ① ベルト調節ボタンを押しながら左右の幼児ベルトを手前に引きゆるめます。

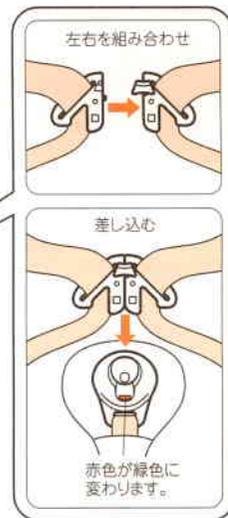
- ② 左右のタンクキーパーに差込タンクを引っかけます。



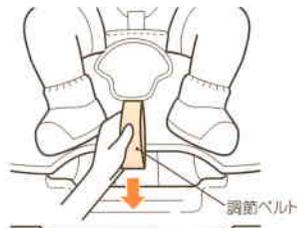
👉 アドバイス

- 肩ベルトカバーをつかむと幼児ベルトは引き出せません、幼児ベルトをじかにつかんでください。

- ③ お子さまを乗せ、本体バックルに差込タンクを「カチッ」と音がするまで差しこみます。
差込表示が「緑色」に変わっていることを確認してください。



- ④ 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトがお子さまの体にフィットするように調節します。



👉 アドバイス

- 肩ベルトの調節のめやすとして、お子さまの体と肩ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいのゆとりがめやすです。

《完了チェック》

▲ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けおそれがあります。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。



- ① 差込タンクが左右とも確実にバックルに差し込まれていること。
- ② 幼児ベルトが左右同じ高さの穴に通じてあること。
- ③ 幼児ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。
- ④ お子さまの骨盤をしっかり拘束するため、腰ベルトが低く下げて、装着されていること。

5 ベビーモードの取り付けかた

(後向き使用)

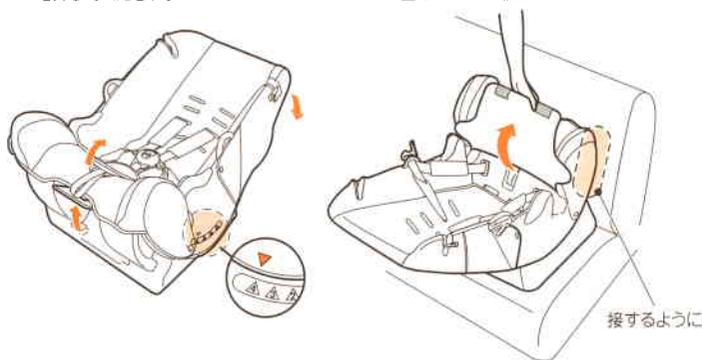
安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

警告

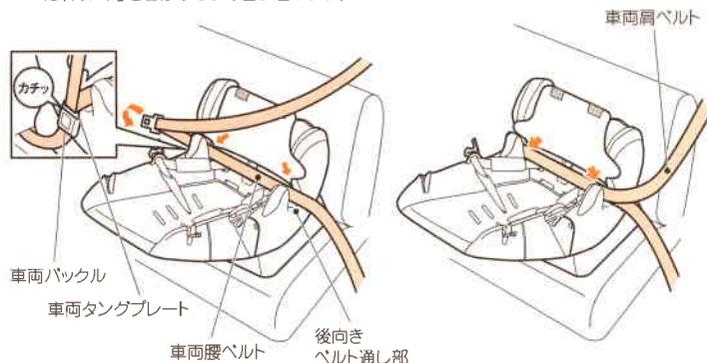
- ご使用前に取り付け可能な座席であることおよびお子さまが使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(「1 ご使用にあたって」P2.3を参照)条件が満たされていない場合お子さまが傷害を受けるおそれがあり危険です。

対象 体重：～10kg未満

- ① 本体のリクライニングレバーで本体を4段目に合わせ、いったんインナークッションを外してください。
- ② 本体を車両進行方向に対し後向きにし、座席の背もたれに、接するようにしておき座席カバーの腰部をめくり上げます。



- ③ 車両腰ベルトを左右の後向きベルト通し部に通し車両タンクプレートを車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- ④ 車両肩ベルトを左右の後向きベルト通し部に通します。



- ⑤ 車両肩ベルトを、背もたれ側面にあるベルトフックにかけます。
※使用するベルトフックは、車両ベルト付け根側のみです。

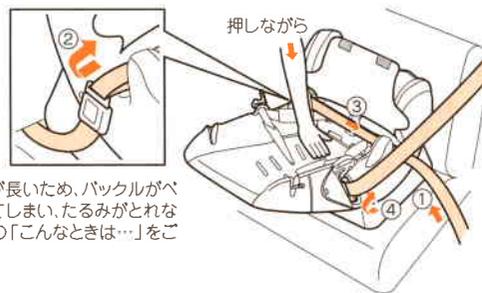


警告

- 車両肩ベルトは、ベルトフックのベルト引っ掛け部より下に確実にかけてください。
- 車両肩ベルトは、かける方向にも注意してください。
- 万一のとき思わぬ事故につながる恐れがあります。

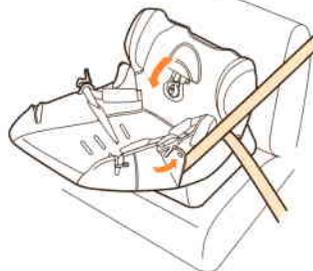


- ⑥ 座面を押しながら、図の①～④の順に車両ベルトを強く引っばってベルトのたるみをとります。



※バックル側のベルトが長い場合、バックルがベルト通し部に当たってしまい、たるみがとれない場合は、24ページの「こんなときは…」をご覧ください。

- ⑦ 座面カバー部とベルトフック部のカバーを戻します。
※車両ベルトの位置によっては、ベルトフック部カバーのバックルがとまらない場合がありますが、安全性には問題ありませんので、そのままご使用ください。



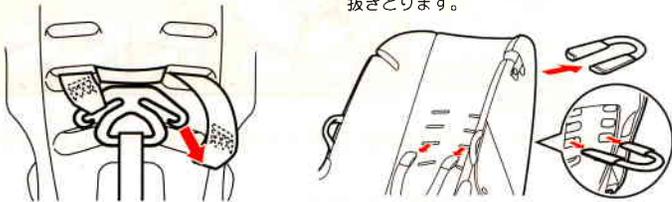
幼児ベルト通し穴の選びかた

○お子さまを座らせたとき、お子さまの肩のすぐ上になるように、肩ベルトの位置を調節してください。

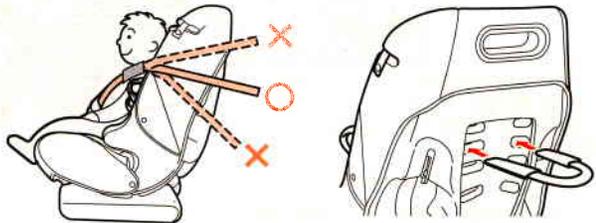
▲ 警告

●肩ベルトは、お子さまの体格に合わせて必ず調節してください。
正しく調節しないと衝突したときなどにチャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

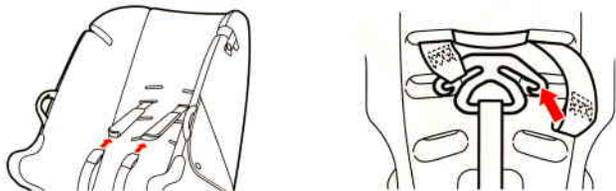
- ① 背もたれ裏側の連結金具から幼児ベルトをはずします。
- ② 肩ベルトカバーから幼児ベルトを抜きとり、さらに背もたれ裏側から肩ベルトカバーを抜きとります。



- ③ お子さまを座らせ、幼児ベルトがお子さまの肩のすぐ上になる肩ベルト通し穴を選び、肩ベルトカバーを差し込みます。



- ④ 幼児ベルトを肩ベルトカバーに差し込み、さらに肩ベルト通し穴に通します。
- ⑤ 幼児ベルトを背もたれ裏側の連結金具へかけます。



《完了チェック》

▲ 警告

●下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
- ① 幼児ベルトが左右とも確実に連結金具に接続されていること。
- ② 幼児ベルトが左右同じ高さの穴から通してあること。
- ③ 幼児ベルトがねじれたり、ゆるんだ状態になっていないこと。

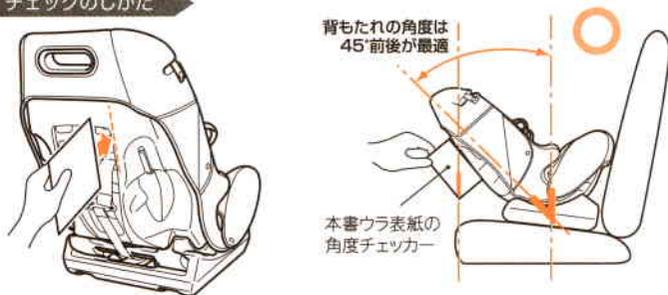


取り付け角度のチェックと調整

警告

- ベビーモード(後向き取り付け)使用時は、チャイルドシートの背もたれの角度が垂直から測って45度前後になるよう調整してください。
- 車の座面が極端に平らな場合、チャイルドシートの背もたれが、車の進行方向に倒れすぎてしまい、事故の際十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

チェックのしかた



調節が必要な場合



警告

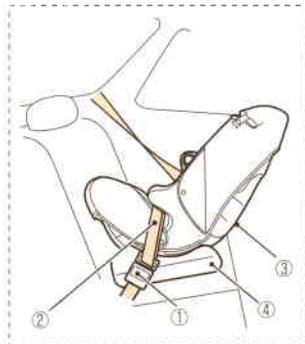
- 角度調節マットを誤った位置で使い、背もたれが倒れすぎて危険です。



付属の角度調節マットを、チャイルドシート底の前端部にはさみ込みます。

《完了チェック》

[シートベルトのバックル側から見た完成図]
※後部座席左側に取り付けた例



[シートベルトの付け根側から見た完成図]
※後部座席左側に取り付けた例



警告

- 下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

●チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。

- ①車両ベルトのバックルが確実に差し込まれていること。
- ②車両シートベルトにゆるみやねじれがないこと。
- ③取り付け角度が正しく調整されていること。
- ④ベース部を前後左右にゆずって3cm以上動かないこと。

安全にご使用いただくために、必ず次の条件をお守りください。

警告

- ご使用前に取り付け可能な座席であることおよびお子さまが使用条件を満たしていることを必ず確認してください。(「1 ご使用にあたって」P2.3を参照)条件が満たされていない場合お子さまが傷害を受けるおそれがあり危険です。

対象 体重：9kg以上～18kg以下

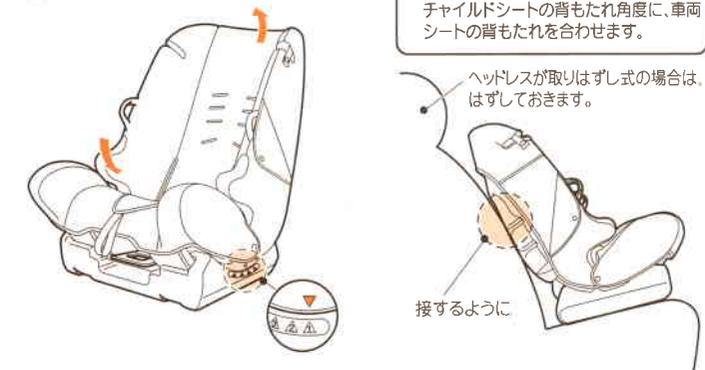
- ① 本体のリクライニングレバーで、本体を1～3段目に合わせてください。
チャイルドシートを固定した後では、リクライニングを動かさない場合があります。
- ② 本体を車両進行方向に対し前向きにし、座席の背もたれに、接するようにしておきます。

アドバイス

- 車両シートがリクライニングできる場合は、チャイルドシートの背もたれ角度に、車両シートの背もたれを合わせます。

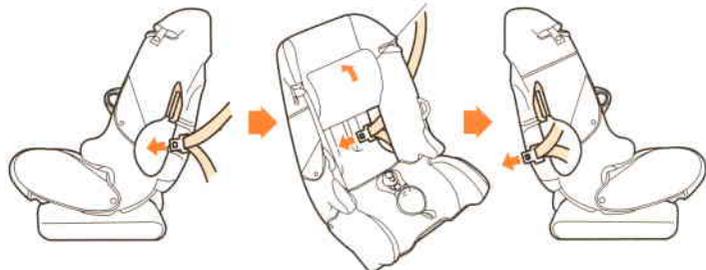
ヘッドレスが取りはずし式の場合は、はずしておきます。

接するように



- ③ 前向きベルト通し穴に車両ベルトを入れ、背もたれカバーをめくりながら、反対側の通し穴から車両ベルトを出します。

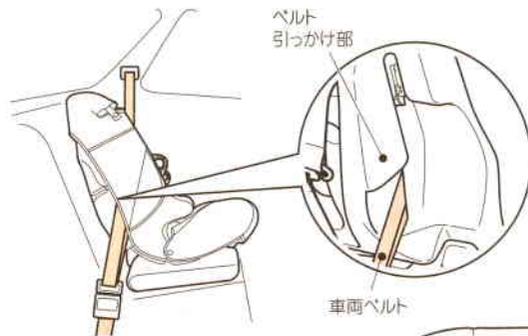
背もたれカバーの背面部をめくり上げる。



注意

- 車両シートベルトがねじれないよう注意してください。

- ④ 車両タンクプレートと車両バックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。
●車両ベルトを本体ベルト通し穴にある、ベルト引っ掛け部より下へかけます。



- ⑤ 車両肩ベルトを強く引きながらベルト通し穴上部のバックルと反対側のロックオフレバーをいったん開いて、車両肩ベルトをはさみます。

ロックオフレバー

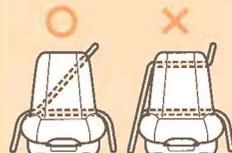


- ⑥ 本体の上から体重をかけ、図の①②の順番に強く引っばって車両ベルトのゆるみをとって最後にロックオフレバーをしっかり止めます。



警告

- 車両肩ベルトは図のようにバックルと反対側1ヶ所のみにはさんでください。誤って取り付けると、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受ける恐れがあります。

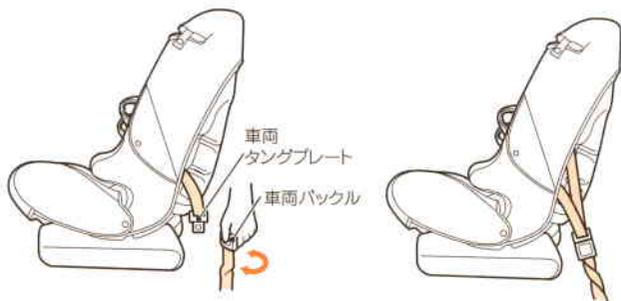


こんなときは…

車両シートベルトのバックル位置が高い場合

○車両バックルが長く、しっかり固定できない場合は、図のように対応してください。

- ① 車両タンクプレートははずして、車両バックルを回転させ短くします。
※4回以上回転させないでください。
- ② もう一度車両タンクプレートを車両バックルに差しこみ固定します。

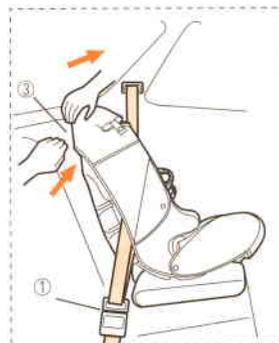


⚠ 警告

- 車両バックルを回転させることができない場合または、三回転させても位置が高くしっかり固定できない場合は、その座席ではチャイルドシートを使用しないでください。そのまま使用すると万一のとき、十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートの取付け以外では車両シートベルトをねじって使用しないでください。万一のとき、車両シートベルトの効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

《完了チェック》

[バックル側から見た完成図]
※後部座席左側に取り付けた例



[ベルト付け根側から見た完成図]
※後部座席左側に取り付けた例



⚠ 警告

- 下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。

- ① 車両ベルトのバックルが確実に差し込まれていること。
- ② お子さまが座っても車両ベルトにゆるみやねじれがないこと。
- ③ チャイルドシート上部を前方に引っばった時に、座席とのすきまににぎりこぶしが入らない程度であること。

⚠ 警告

- チャイルドモードでは、チャイルドシートを固定したままではリクライニングができなかつたり車両シートベルトがゆるんでしまう場合があります。リクライニング操作後は、22ページ②以降の手順を行ない車両シートベルトのゆるみを取り、チャイルドシートを固定しなおしてください。

7 ジュニアモードの準備

○本体より幼児ベルト、バックル、調節ベルトをはずしてご使用ください。

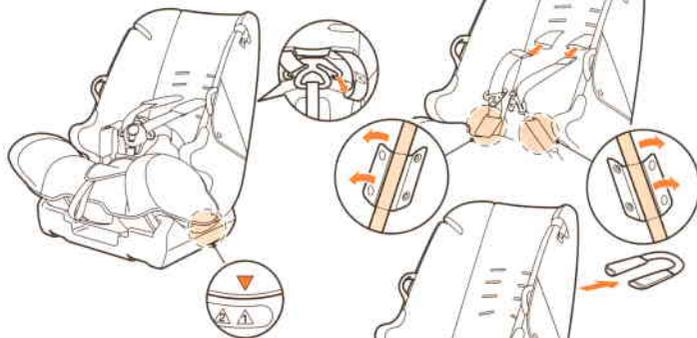
1. 部品のはずしかた

▲警告

●ジュニアモード以外でご使用になる場合は、部品をはずさないでください。

幼児ベルトのはずしかた

- ① 本体リクライニングを1段目にし、本体背面の連結金具から幼児ベルトをはずします。
- ② 本体ベルト通し穴から幼児ベルトを抜き取ります。



- ③ 本体ベース部ベルト通し穴上面からベース裏面についているプレートドライバーなどで下へ押し込みはずします。
- ④ 本体座部裏面穴からプレートと幼児ベルトを引き出しプレートははずします。

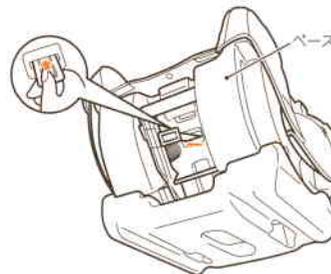


バックルのはずしかた



- ① 本体リクライニングを4段目にしてください。

- ② ドライバーなどでプレートを浮かせて、本体の穴にタテに押し込んでください。



- ③ 本体ベース上面からバックルを抜き取ります。



調節ベルトのはずしかた

- ① 本体前側のカバーをめくり、ベルト調節ボタンの取付ねじをはずします。
- ② ベルト調節ボタンと調節ベルトを本体より抜き取ります。ネジは、なくさないように本体にネジ込み戻してください。



なくさないように
ネジ込んでおきます



2. 部品の取り付けかた

バックルの取り付けかた

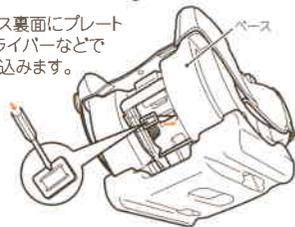
- ① 本体リクライニングを4段目にしてください。



- ② 本体ベース上面からバックルを差し込みます。

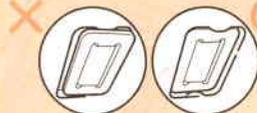


- ③ ベース裏面にプレート
をドライバーなどで
はめ込みます。



警告

- プレートは図のようにしっかりとめ
てください。
万一のとき思わぬ事故につながる
おそれがあります。



調節ベルトの取り付けかた

- ① 本体前側のカバーをめくり、連結金具を本体穴に通してからベルト調節ボタンを本体に取り付けます。

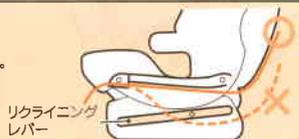


- ② ベルト調節ボタンを取付ねじで固定します。



警告

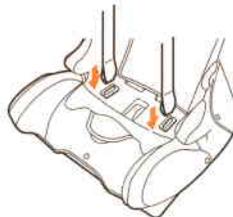
- 調節ベルトは図のようにリクライニングレバーの上を通してください。
誤って通すと万一のとき思わぬ事故につながるおそれがあります。



リクライニングレバー

幼児ベルトの取り付けかた

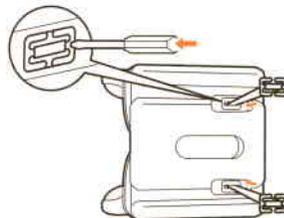
- ① 本体リクライニングを1段目にし、本体上から幼児ベルトを差し込みます。



- ② 本体座部裏面穴から幼児ベルトを引き出しプレートを取り付けます。

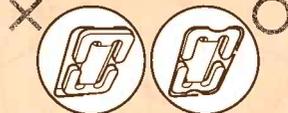


- ③ ベース裏面にプレートをドライバーなどで
はめ込みます。

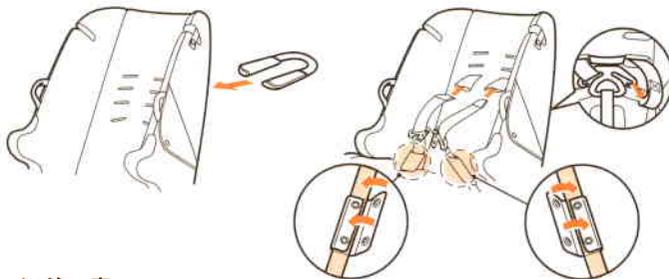


警告

- プレートは図のようにしっかりとめ
てください。
万一のとき思わぬ事故につながる
おそれがあります。

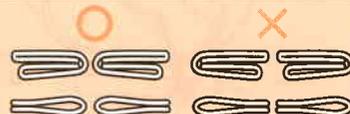


- ④ 肩ベルトカバーを本体ベルト通し穴に差し込んだあと、幼児ベルトを肩ベルトカバーに差し込み、本体ベルト通し穴に差し込んでから、連結金具に取り付けます。



注意

- ベルトパッドと肩ベルトパッドは、
腹部が内側になるように取り付け
てください。



8 ジュニアモードの使いかた

対象 体重：15kg以上～25kg以下

警告

- 必ず本体リクライニングを1段目にご使用下さい。1段目以外でご使用されますと、万一のとき、チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ① 本体のリクライニングレバーで、本体を1段目に合わせてください。
- ② 本体を車両進行方向に対し前向きにし、座席の背もたれに、接するようにしておきます。

※EGタイプの場合は、ヘッドパッドからゲル素材パッドを外す。シートカバーの頭部ウラ側のポケットに入れます。



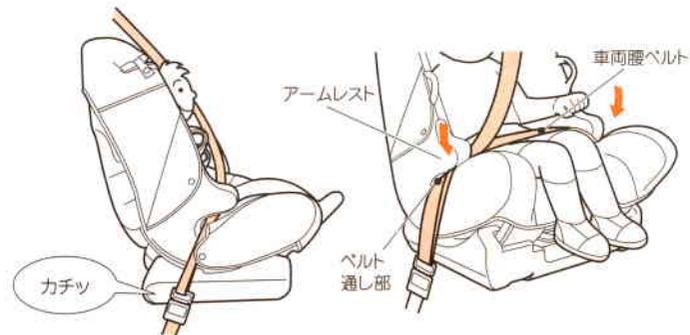
ヘッドレスが取り外し式の場合は、はずしておきます。



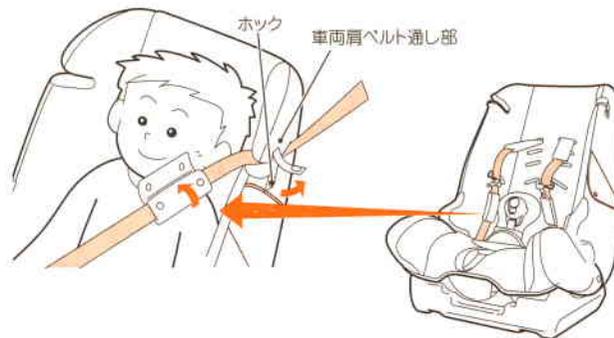
アドバイス

- リクライニング出来る座席の場合は、チャイルドシートの角度に合わせて調節します。

- ③ お子さまを座らせ車両シートベルトを引き出し、車両タンクプレート（カチッ）を車両バックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- ④ 車両腰ベルトと車両肩ベルトをアームレスト部の下ににくぐらせます。



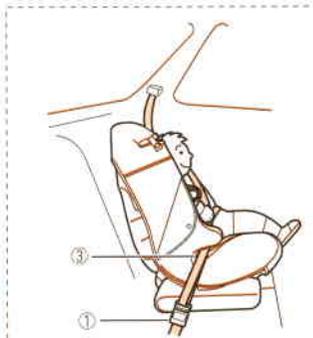
- ⑤ 背もたれサイドにあるスリット部のホックをはずします。
・車両肩ベルトを車両肩ベルト通し部へ引っ掛けホックをとじます。
- ⑥ 腰ベルトカバーを図のように車両シートベルトに取り付けます。



完了チェック

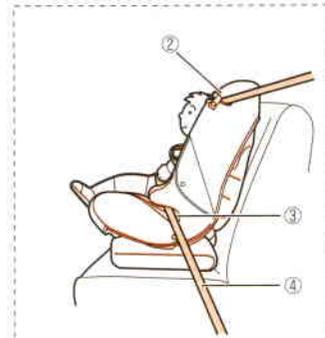
【シートベルトの付け根側から見た完成図】

※後部座席左側に取り付けた例



【シートベルトのバックル側から見た完成図】

※後部座席左側に取り付けた例



警告

- 下記の項目を満足しない状態で、使用しないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- チャイルドシートの効果を十分に発揮させるため、次のことを確認してください。
 - ①車両シートベルトのバックルが確実に差し込まれていること。
 - ②車両肩ベルトが本体上部車両肩ベルト通し部に確実に引っかけてあること。
 - ③車両ベルトがアームレストの下に通っていること。
 - ④シートベルトがなじれていないこと。

9 お手入れのしかた

1. カバー類のはずしかた

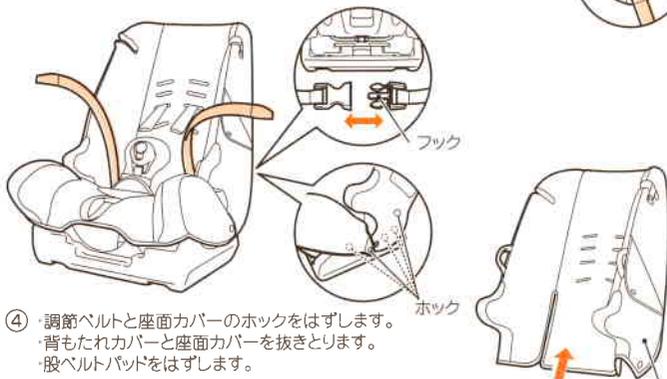
- ① インナークッションをはずします。



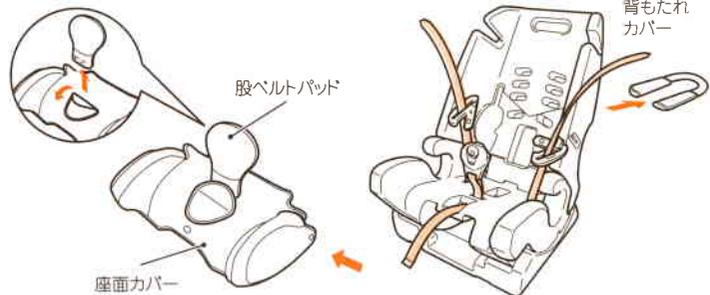
- ② 左右の肩ベルトを背もたれ裏側の連結金具からはずし、肩ベルト通し穴から抜きます。
肩ベルトカバー・腰ベルトカバーをはずします。



- ③ シートカバー外側の10ヶ所のホックと背もたれ裏側下部のフックをはずします。

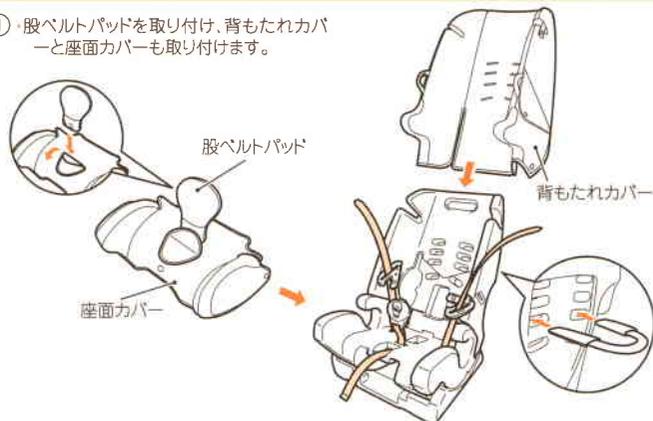


- ④ 調節ベルトと座面カバーのホックをはずします。
背もたれカバーと座面カバーを抜きとります。
股ベルトパッドをはずします。

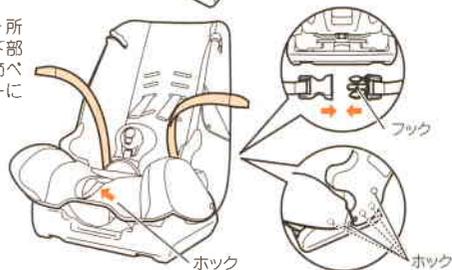


2. カバー類の取り付けかた

- ① 股ベルトパッドを取り付け、背もたれカバーと座面カバーも取り付けます。

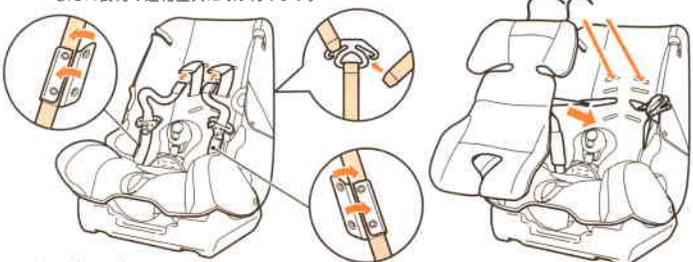


- ② シートカバー外側の10ヶ所のホックと背もたれ裏側下部のフックを取り付け、調節ベルトのホックを座面カバーに止めます。



- ③ 肩ベルトカバー・腰ベルトカバーを取り付けます。
左右の肩ベルトを肩ベルト通し穴から通し、背もたれ裏側の連結金具に取り付けます。

※インナークッションを使用する場合は、最後に取り付けます。

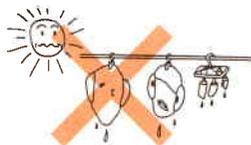


▲ 注意

- 腰ベルトカバー・肩ベルトカバーの取り付けかたは、29ページ④の注意を確認してください。

3. お手入れ

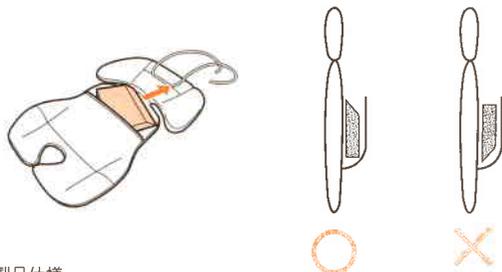
背もたれカバー、座面カバー、股ベルトパッド、肩ベルトカバー、腰ベルトカバーの洗いかた



- 中性洗剤で手洗いし、風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちするのでお使いにならないでください。
- アイロン掛けはしないでください。



- インナークッションとヘッドパッドを洗濯する場合は、ウレタンとゲル素材パッドを外して洗濯してください。
- ウレタンとゲル素材パッドは洗濯できません。
- インナークッションへウレタンを挿入する場合は、下図のようにセットしてください。



- 製品仕様
製品サイズ／(W)455×(D)555×(H)705
製品質量／プリムロングEG：7.4kg プリムロング：7.2kg
材 質／本体：ポリエチレン
シートクッション 表生地：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

本体、部品類のお手入れ

- 掃除機などで、ほごりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを取り、水拭きしてから風通しのよい日陰に干してください。
- 十分に乾くまで使用しないでください。

▲ 警 告

- ガソリンやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。チャイルドシートが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。